

# 「インフルエンザの伝播に関する学生の接触行動」

## に関する質問紙調査のお願い

昨年は新型インフルエンザが発生し、全世界的なパンデミックとなりました。宮崎でも流行し、その広がりを抑え込むことができませんでした。インフルエンザの流行を抑えることは非常に難しいことが知られていますが、その被害を最小限に食い止める努力をする必要があります。

以前より、インフルエンザの流行においては、学校がその流行を広げる中心（エピセンター）であると言われていています。しかし、実際に学校で生活する皆さんの行動についてわかっていることは少なく、どのくらい隣の人と接触しているのか等のデータを収集し分析することは非常に重要な課題となっています。今回の質問紙調査は、学校で生活する皆さんの行動について調べる非常に大切なものです。

- この質問紙調査は、宮崎県内のいくつかの専門学校で学ぶ皆さんにお願いしています。
- この質問紙調査は、専門学校で学ぶ皆さんとその先生、さらに同居している家族の皆さんにお答えいただくようお願いいたします。
- この質問紙調査において、個人を特定できる情報は集めておりません。  
記入していただいた質問紙は、すべて統計的に処理し厳重に管理しますので、個別の記入内容が漏れてご迷惑をおかけすることは一切ありません。ありのままをお答えください。
- 質問紙は二つのパートに分かれています。一つ目のパートはご家族で1部お答えください。二つ目のパートは、同居している家族の方全員が一人ずつ、1週間連続でお答えください。お子様など、質問に答えることができない方は、回答可能な方が代わりに確認しながらお答えいただいてもかまいません。
- 今回の調査結果により有効と思われる対策が見つければ、宮崎県や日本全国に向けて積極的に提言していく予定です。また、学会等にも発表していく予定です。なお、結果は適宜以下のウェブサイトにて公表していきます。
- 記入が終わりましたら、学校で回収させていただきます。ただし、提出の際にはくれぐれも回答者やその家族の個人情報は記入しないでください。

お忙しいところ、ご面倒とは思いますが、ご協力をお願いいたします。

平成 23 年 4 月 竹内昌平

このアンケートの内容に関するご質問等がございましたら、下記にお問い合わせください。

宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 助教 竹内昌平

TEL: 0985-85-0874

ウェブサイト: <http://plaza.umin.ac.jp/~takeshou/research/students.html>